

2019年9月20日

2019 奈良県ジュニアテニス選手権夏季大会のエントリーについて

奈良県テニス協会

表記大会について、本来エントリーすべきカテゴリーと違ったカテゴリーにエントリーした選手に対する事務局の対応について、様々なご意見をいただきました。9月11日の常任理事会にその経緯を報告いたしました。今回の対応についての協会としての見解と今後の対応について常任理事会にて了承をえましたのでお知らせいたします。

【いただいたご意見】

- 申し込み受付後エントリーリストを公開しているのだから、カテゴリーを間違えたのは本人の責任である。したがってリドローするべきではない。
- 生年月日を明記してエントリーしているのだから、受け付けた事務にも責任がある。リドローもやむをえない。

【協会としての見解】

今回のカテゴリーを誤ってのエントリーも含めて、本来、「エントリーはあくまでも申し込んだ選手に責任がある。」これが協会としての見解です。今回のことに関しては、ドロー発表後であることでもあり、その責任を協会が持つべきではありませんでした。しかしながら既に大会は終了しているのでその結果は有効といたします。

【今後の対応】

正しくエントリーがされているか、ポイントランキングに間違いがないかも含めて、それをドロー会議までに必ず、選手本人および顧問が確認することを要項に盛り込むと同時にその周知徹底を図ります。また、大会要項にもとづいた運営をしていくことが選手や保護者からの信頼につながることを肝に銘じ、今後の大会運営をしていきます。

- ・エントリーの責任は選手にある。
- ・公開するエントリーリストを必ず確認することを要項に明記するとともに、ドロー公開後の変更は一切認めない。また、ポイントランキングについても同じ扱いとする。
- ・ドロー会議を一括してジュニア委員会で編成していく。

※中体連、高体連と至急協議し出来るがけ早い段階で実施していく。

(13才および15才については秋ジュニアよりジュニア委員会にて実施する)

以上